

令和4年度 事業報告

社会福祉法人馬場福社会

1 法人本部、会務の運営

【監査の実施】

令和4年6月 監事による理事長職務執行状況及び会計監査実施

【金沢市実地指導・監査の実施】

令和4年9月 金沢市の施設実地指導・監査の実施（こども園対象）

【法人登記】

令和4年6月 資産総額の変更登記終了

【理事会の開催】

以下のとおり開催し決議又は承認・了承した。

(1) 令和4年6月9日

- | | |
|-------|------------------|
| 第1号議案 | 令和3年度事業報告（案）について |
| 第2号議案 | 令和3年度計算書類の承認について |
| 第3号議案 | 令和3年度監事監査報告について |
| 第4号議案 | 定時評議員会の開催について |
| 第5号議案 | 理事長職務執行状況報告について |
| 第6号議案 | 経理規程の改正について |
| 第7号議案 | 社会福祉法人の現況届出について |
| 第8号議案 | 資産総額変更登記について |
| 第9号議案 | その他 |

(2) 令和4年12月15日

- | | |
|-------|------------------|
| 第1号議案 | 理事長職務執行状況報告について |
| 第2号議案 | 金沢市の施設監査結果について |
| 第3号議案 | 苦情処理第三者委員の選任について |
| 第4号議案 | 馬場福祉会の新年会について |
| 第5号議案 | その他 |

(3) 令和5年3月28日

- | | |
|-------|----------------------|
| 第1号議案 | 令和4年度予算執行状況について |
| 第2号議案 | ひがしやまこども園拠点の補正予算について |
| 第3号議案 | 令和4年度事業報告（案）について |
| 第4号議案 | 令和5年度事業計画（案）について |
| 第5号議案 | 令和5年度予算（案）について |
| 第6号議案 | その他 |

【評議員会の開催】

以下のとおり開催し決議又は承認・了承した。

(1) 令和4年6月24日

- 第1号議案 令和3年度事業報告の承認について
- 第2号議案 令和3年度計算書類の承認について
- 第3号議案 令和3年度財産目録の承認について
- 第4号議案 監事の監査報告について
- 第5号議案 理事会からの報告事項について
- 第6号議案 その他

【評議員選任・解任委員会の開催】

開催なし。

2 地域福祉事業（善隣館事業）

【介護拠点】

<わくわくタイム>

- 令和4年4月 心とむ小さなフラワーアレンジメント（馬場公民館）
- 6月 臨床美術：ネギを描く（馬場公民館）
- 8月 簡単な運動で新しい刺激を取り入れよう（馬場公民館）
- 10月 冬に向かって脱水に気をつけよう（馬場公民館）
- 11月 地域の高齢者と馬場小学校4年生との交流事業（臨床美術：馬場公民館）
- 12月 一文字を作ろう（馬場公民館）
- 令和5年2月 お雛様を作ろう（馬場公民館）

<地域福祉意識醸成事業>

- 令和4年11月 地域の高齢者と馬場小学校4年生とで地域福祉意識醸成に取り組む

【保育拠点】

<地域ふれあい事業>

- 令和4年11月 地域の高齢者と子供との交流 於；馬場公民館）

【臨床美術作品展】

- 令和4年 7月 北國銀行金沢城北支店でのロビー展
わくわくタイムでの作品、こども園での子どもの作品展示
- 令和4年12月 北國銀行金沢城北支店でのロビー展
地域福祉意識醸成事業での高齢者と馬場小学校4年生の作品、
こども園での子どもの作品展示

【地域の高齢者の元気を応援する活動】

- 令和5年 3月 新型コロナウイルス感染症対策への衛生グッズの配布

【金沢市善隣館協議会】

<代表者会議：本江理事長>

- 令和4年 6月 善隣館代表者会議（KKR ホテル金沢）

令和4年12月 善隣館代表者会議（KKR ホテル金沢）

<幹事会：志賀浦理事>

令和4年5月 金沢市善隣館協議会幹事会（第一善隣館）

7月 金沢市善隣館協議会幹事会（第一善隣館）

11月 金沢市善隣館協議会幹事会（第一善隣館）

<金沢市・福祉まつり：志賀浦理事>

令和4年9月 金沢市福祉まつりに参加（松ヶ枝福祉館・松ヶ枝緑地）

以上

令和4年度事業報告

幼保連携型認定こども園 ひがしやまこども園

こども園の運営と活動

1、児童数(12か月の延べ人数)

0歳児＝48人 1歳児＝108人 2歳児＝192人 3歳未満児計＝348人
3歳児＝105人 4歳児＝190人 5歳児＝192人 3歳以上児計＝4487人

2、行事の運営

年間行事予定表の行事計画は、新型コロナウイルス感染症予防のため、中止、または縮小した。1年に1回のお茶会・お招き会など、善隣館活動として地域の高齢者を招待するものは中止した。招待の代わりに、クリスマスプレゼントを配布した。(メッセージカード・小物入れ・ティッシュペーパー)保護者が参加する行事は人数を限定し、未満児クラスは原則保護者参加の行事は行わない。代わりに保護者への開示・可視化について配慮し、園の様子や行事について、ホームページからインスタグラにアップした動画を見てもらうように配信した。(期間限定にし、パスワード付で保護者以外は閲覧できない処理済)

3、特別事業の実施

統合保育事業・延長保育事業・年末保育の特別保育のほか、一時預かり保育事業の実施

4、他の機関との連携

・小学校・児童館・児童クラブ・地域サロンなど人同士の交流はできないが、情報交換等は従来通り行う。
保健所・教育プラザ等との交流、訪問、会議、などはこれまで通りに行った。
・金沢市の事業である東京大学大学院発達保育実践政策学の基礎研究に参加(令和2年度から)

5、学生の受け入れ

- ・金城大学学生1名、金城短大の学生1名の実習を受け入れ
- ・近隣の小中学校の体験学習は中止、桜丘高校のインターンシップは8月に実施
- ・県立看護専門学校、県立看護大学は実習を実施、学生を受け入れた
- ・歯科医療専門学校の実習は中止したが、歯磨き・虫歯予防に関する子ども向けのリーフレットを受け取る

6、研修会への参加

- ① 県・市の開催する研修、全保協・日保協・私立保育園連盟の研修、医師会との研修など
新任研修から所長研修、分野別研修(保健、防災、制作、音楽など)に全職員を派遣
今年度も主にオンラインでの研修となったが、AED等実技実習等、集合参加型の研修にも参加
- ② 国で定められた必須のキャリアアップ研修への参加(主にオンライン)

7、職員の異動

・令和5年3月31日をもって2名の派遣職員が契約を打ち切り、退職

1 業績報告

<概要>

令和4年度の業績は、対前年度比で11%減であった。新型コロナウイルス感染症が再燃したことに加え、感染症とは直接関係はないにせよ、入院・施設入所・死亡等で、サービスを終了する利用者が多かった。そのため、業績目標の「前年度比3%増」を達成することはできなかった。もう一つの目標であった「要介護利用者月平均28人」は、平均27人という結果であり、こちらも目標には届かなかった。特に令和5年に入ってから要介護利用者の減少が著しく、令和5年1~3月は平均が約23人である。下半期から新規利用者の話はきていたが、人手不足により対応ができない状況であった。今後、常勤職員の稼働率を今まで以上にあげて、増収に努めたい。

要支援利用者の人数は減少していないため、維持できるよう、次年度に向けて引き続き頑張っていきたい。

<事業報告>

以下の事業報告（表形式）を参照ください。

新型コロナウイルス禍での業務は、行動が制限される等の苦勞が多い部分も多くあった。反面、外部研修等がリモートで行われたことから、常勤職員を中心に令和3年度よりも多く研修に参加できた。令和5年度は集合形式の研修も増えてくると思われるため、常勤、非常勤共に参加できるよう勤務形態を工夫したい。

計画内容	実績	備考
<p>1 業績・サービスの向上</p> <p>①利用者数の増加</p> <p>*新規利用者（要介護者）の増加 ・特定事業所加算の対象となる『要介護者』の利用者数の増加を目指す（月28人を維持することが目標）。</p>	<p>要介護者の利用者数、月平均28人を達成できなかった。来年度目標達成を図る。</p>	<p>未達成 継続</p>
<p>*ケアマネジャーへの営業活動 ・管理者（サービス提供責任者）が、毎月の実績やモニタリングを各ケアマネジャーに直接届け、利用希望者の紹介依頼をする。→チラシの配布等 ・当事業所を利用していない居宅介護支援事業所に対しても同様に実施する。</p>	<p>コロナ禍の再燃で、サービス提供責任者による居宅事業所への訪問がほとんどできなかった。利用者等にもコロナ患者が出た中、職員に感染者が出ずに営業を継続できたことは幸いだった。次年度に居宅訪問を実施したい。</p>	<p>未達成 継続</p>
<p>*自費サービスの拡大 ・介護報酬の引き上げが見込めないことから、介護報酬に頼らない自費サービスを増やす。介護保険適用外の自費サービス提供で地域貢献に努め、合わせて全体的な増益を図る。→自費サービスのチラシ作成配布。</p>	<p>コロナ禍の再燃により、自費サービス提供の営業活動を行うことができなかった。次年度こそは実施したい。自費サービス提供においても、人手不足および、ヘルパーの高齢化に伴うサービス内容の縮小は課題である。物価高騰の折、自費利用料の値上げも早急に考える必要がある（買物代行交通費、通院乗降等介助ガソリン代、自費の掃除等）。</p>	<p>未達成 継続</p>
<p>②自立支援</p> <p>*訪問介護計画書の内容を担当ヘルパーに周知することで、利用者の「目標」を明確にし、利用者へのより良いサービス提供と自立支援に努める。</p>	<p>利用者の「目標」の周知は浸透してきた。今年度からは計画書から見えてくる課題を抽出し、モニタリングに活かしている。</p>	<p>達成 継続</p>

<p>*サービス提供責任者が月1回程度利用者を訪問することで、利用者の近況を確認するとともに満足度を確認する。</p>	<p>コロナ禍の再燃で、サービス提供責任者の自宅訪問が難しく、すべての利用者の自宅を訪問できなかった。</p>	<p>未達成 継続</p>
<p>*年間計画に基づき、利用者別会議を開催しヘルパー間で利用者の特性や各種情報を共有していくことでチームアプローチによる均一な援助体系を確立し、利用者の自立支援につなげる。</p>	<p>令和4年度は、利用者別会議を開催するだけでなく、開催時、ヒヤリハットに繋がる事象についても話し合えた。</p>	<p>達成 継続</p>
<p>③アンケート調査を実施し、その結果を経営改善プロセスに反映し提供サービスの質の向上につなげる。</p>	<p>11月に実施できた。忌憚のない意見が色々聞けて、良かったと思う。</p>	<p>達成 継続</p>
<p>2人材の育成と職員研修 ①内部・外部の研修会への参加を積極的に促し、職員の資質及び技術の向上を図る。外部研修に関しては参加者が報告書を作成し他の職員に周知する。 ②職員全員分の研修計画を作成し、計画に沿って円滑に研修が行えるように毎月の勤務を組み立てる。</p>	<p>内部研修はヘルパー会議の日程と合わせることで、全員参加に近づけることができた。外部研修はコロナ禍のためほとんどの研修がZoomによるリモート開催となったが参加はできた。相手の様子が分からず、リモート会議の難しさを痛感した。</p>	<p>達成 継続</p>
<p>3二事業所連携への取り組み ①一年間の研修の一部分を二事業所合同で行い、介護保険サービスの質の向上に努める。 ②善隣館事業である「わくわくタイム」を二事業所合同で行い、地域福祉に貢献する事業所を目指す。</p>	<p>5, 8, 9, 10, 2月に合同研修を行った。 4, 6, 8, 10, 12, 2月に実施し、地域福祉に貢献できた。</p>	<p>達成 継続 達成 継続</p>

令和4年度 利用者別会議開催報告

ヘルパーステーションひがしやま

月	会議予定日	利用者名	ヘルパー	進行	実施日	実施利用者名	進行
4月	12日	Y.M様	木村・宮田	木村	11日	R.O様 Y.M様 K.M様 I.Y様 M.K様	木村 宮田
5月	11日	H.H様	木村・宮田	宮田	23日	E.F様	木村
6月	15日	E.F様 S.F様	木村他4名	木村	20日	I.K様	木村
7月	13日	N.U様	青山他2名	青山	25日	S.F様 S.K様 T.K様 K.M様	木村 宮田
8月	10日	S.K様	木村・青山 他1名	木村	22日	T.F様	木村
9月	14日	K.K様	木村他2名	木村	12日	M.I様 S.F様 T.K様	木村 宮田
10月	18日	S.K様	宮田他4名	宮田	17日	S.F様 E.F様	木村
11月	15日	Y.N様	木村他3名	木村	21日	M.S様 T.F様 I.K様 N.U様 T.K様	木村 宮田
12月	14日	K.M様	宮田他3名	宮田	19日	K.K様	木村
1月	17日	T.A様	木村・青山 他1名	青山	16日	S.F様 N.U様	木村 宮田
2月	14日	R.O様	木村・宮田 他1名	木村	20日	S.F様	木村
3月	14日	I.Y様	宮田他2名	宮田	20日	S.Y様	木村

令和4年度 事業所内研修報告

ヘルパーステーションひがしやま

月	予定日	研修テーマ	研修内容	説明者	実施日	研修内容	説明者
4月	12日	令和3年度事業報告と令和4年度事業計画について	テーマの周知	施設長	11日	令和3年度事業報告と令和4年度事業計画の周知	施設長
5月	11日	緊急時の対応に関する研修	BCP 基礎編	小島	23日	BCP 基礎編 「BCP とは」	小島
6月	15日	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する研修	マニュアル使用による研修(仮)	平田	20日	「スタンダード・プリコーション」とは	平田
7月	13日	ヘルパーの接遇に関する研修	マニュアル使用による研修(仮)	宮田	25日	「おもてなし」の心が伝わる介護の接遇とは	宮田
8月	10日	緊急時の対応に関する研修	BCP 応用編	小島	22日	BCP の具体的策定ポイントについて	小島
9月	14日	利用者の対応や従業員に対する認知症に関する研修	マニュアル使用による研修(仮)	小島	12日	3D(認知症・うつ・せん妄)は高齢者ケアのキーワード	小島
10月	18日	利用者のプライバシー保護の取り組みに関する研修	マニュアル使用による研修(仮)	尾山	17日	「虐待につながる不適切ケアとは？」	尾山
11月	15日	倫理及び法令遵守に関する研修	マニュアル使用による研修(仮)	施設長	21日	マニュアル使用による研修	施設長
12月	13日	事故発生又は再発防止に関する研修	マニュアル使用による研修(仮)	平田	19日	介護現場におけるリスクマネジメントとは	平田
1月	17日	介護サービスの質の確保	マニュアル使用による研修(仮)	宮田	16日	「サービス中のあいまいゾーン」	宮田
2月	14日	感染症及び食中毒の予防及びまん延の防止に関する研修	マニュアル使用による研修(仮)	尾山	20日	コロナウイルス等、感染症について	尾山
3月	14日	認知症及び認知症ケアに関する研修	マニュアル使用による研修(仮)	木村	20日	認知症について	木村

令和4年度 外部研修参加報告

ヘルパーステーションひがしやま

開催日	主催	開催場所	内容	参加者
R4. 5. 20 (金)	石川県ホームヘルパー協議会総会・スキルアップ研修会	事務所内 (Zoomによるオンライン研修)	石川県ホームヘルパー協議会総会及びスキルアップ研修会	平田 青山
R4. 7. 7 (木)	金沢市介護サービス事業者連絡会総会	事務所内 (Zoomによるオンライン研修)	金沢市介護サービス事業者連絡会訪問介護部会	平田
R4. 8. 17 (水)	石川県ホームヘルパー協議会	事務所内 (Zoomによるオンライン研修)	管理者研修会 「何から取り組めばいいの?BCP partⅡ」	木村
R5. 2. 22 (水)	金沢元町在宅医療を考える会	事務所内 (Zoomによるオンライン研修)	事例検討会 多職種で行うアセスメント ～教えてあなたのアセスメント～	平田・木村 青山・宮田
R5. 3. 17 (金)	石川県ホームヘルパー協議会	事務所内 (Zoomによるオンライン研修)	適切な法令順守について一緒に考えましょう。	平田
R5. 3. 27 (月)	石川県ホームヘルパー協議会 第2回サービス提供責任者研修会《オンライン》	事務所内 (Zoomによるオンライン研修)	「ホームヘルパーの指導・育成のポイント～サービス提供責任者のスキルアップのために～」	宮田

以上

令和4年度 事業報告

指定居宅介護支援事業所
社会福祉法人 馬場福祉会
東山居宅介護支援事業所
石川県金沢市東山3丁目25-3
グリーンコート東山102

1. 基本理念

思いやりの心を大切に。

今日も一日、心豊かに過ごされることを目指します。

2. 目的

要介護状態又は要支援状態にある高齢者に適正な指定居宅介護支援を提供する。事業の実施に当たっては、利用者の心身の状況や、置かれている環境等に応じて、その利用者が可能な限り居宅において、自己の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の立場に立った「公平・中立」な支援を行う。

3. 定員

(1) 利用者（1か月あたり）

計画人員100名（介護給付・予防給付含）

→令和4年度の実績が、ケアマネジャー2名で、月平均 介護59名 予防33名

合計92名（介護報酬算定では、予防17名になり、計画算定は、月平均76件であった。）

(2) 職員

施設長 1名（常勤兼務）

管理者 1名（介護支援専門員兼務）

介護支援専門員 2名以上（常勤兼務1名、常勤もしくは非常勤専任1名以上）

4. 運営計画

(1) 概要(事業内容)

- ① 介護支援専門員は、利用者の居宅を訪問し、利用者及びその家族への面接を行い、意見や要望を聴取するとともに、支援する上で解決しなければならない課題の把握や分析を行い、利用者や家族の理解、同意に基づく居宅介護計画を作成する。この計画に基づき、当該地域の指定居宅サービス事業者に対し計画内容等の情報を提供し、利用者の居宅サービスの選択を求め、同意を得た上で、サービス事業を実施した。（新規利用者 介護18名、支援14名、終了者介護23名、支援15名）
- ② 利用者が小規模多機能居宅介護利用や、介護保険施設への入所を希望した場合は、小規模多機能居宅介護利用や、介護保険施設への紹介、その他便宜を提供した。（施設入所者 5名）
- ③ 課題分析について使用する分析票は、主として居宅サービス計画ガイドライン方式とした。
- ④ 介護支援専門員は、居宅サービス計画の作成後においても利用者及びその家族、居宅サービス事業者等との連絡を継続的に行い、居宅サービス計画の実施状況を把握する。また、利用者や家族へは、月1回以上（状況の変化が著しい場合は適宜）の訪問を実施しその要望把握を行い、居宅サービスの変更やサービス事業者との連絡調整その他の便宜の提供を行った。
- ⑤ 介護支援専門員は、利用者一人ひとりについて、主治医や関係機関との連携を密にし、継続的のフォローアップを行った。（入退院時連携33件、入院中、その後逝去7名。在宅でお看取

りをした3名。)

- ⑥ 介護支援専門員は、その家族に対しサービス提供に関する疑義が生じることのないよう十分な説明を行うとともに、適宜の相談に対応した。
- ⑦ 金沢市などの委託を受け認定調査を実施し提出書類の作成を行った(68件)。
- ⑧ 独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校3年生在宅看護論 臨地実習受け入れを行い、8グループ2~3名ずつ17名受け入れた。
- ⑨ 金沢大学看護学専攻オンライン在宅看護実習を82名に対し1日間行った。
- ⑩ 主任ケアマネジャーとして、研鑽を積み、地域全体のケアマネジメント力を高めるために、研修に参加した。地域包括と連携をとり、地域ケア会議等開催に協力した。当事業所が関わった地域ケア会議は、2件。(同一世帯)
- ⑪ 善隣館事業わくわくタイム等の運営に協力した。

(2) 業務日及び時間

① 業務日

月曜日から土曜日。ただし、祝日及び12月31日から1月3日までを除く。

② 業務時間

午前8時30分~午後5時15分

(担当職員が不在の場合はヘルパーステーション職員及び事務職員が対応する。時間外において電話対応を行う。)

(3) 業務の適正化について

① 会議

常勤会議 : 月1回(ヘルパー部門と合同)

連絡会議 : 月1回(ヘルパー部門と合同)

事業所内会議 : 月1回以上

事業所内事例検討会 : 月1回以上

② 研修

「年間施設内研修計画」を策定し職場内研修を実施するとともに、各種研修会への派遣等積極的取り組みを推進する。

③ 職員の健康管理

併設ヘルパー部門に準じ、年1回、健康診断を受診する。

以上